| | | | |
|---|---|---|---|
| 区分・種別 | 重要文化財(建造物) | | |
| 名　　称 | 豊島家住宅（としまけじゅうたく）　７棟　附　塀４棟 | | |
| 所　在　地 | 松山市井門町 | | |
| 所　有　者 | 豊島　豊 | 管理　団体 | |
| 指定年月日 | 昭和45年6月17日 | | |
| 解　　説 | 豊島家住宅は、松山市街地の南方、重信川の流域に開けた井門の集落の中にある。豊島家は代々この地方の大庄屋として栄えた旧家で、その屋敷は約3,000㎡あり、ほぼ正方形に近く、北西に濠を掘り四方に築地塀をめぐらし、付属屋を多数構えた豪農の住宅にふさわしい構えである。<br>主屋は直屋（すごや）に角屋（つのや）を配した特色から、井門の八棟造と呼ばれている。宝暦８（1758）年の建築で、逆乙字形上屋は茅葺入母屋造、下屋は本瓦葺（南面）となっている。屋内は居室部、居室座敷取合部、座敷部の３部からなっていて、居室部は東半分を土間、西半分は床張りとして、居間、奥、台所等６室がある。居室座敷取合部は棟割りに２室を設け、東西は縁構え上り口となる。座敷部は３室で広縁を回し、湯殿、雪隠を設けている。主屋平面積は427.76㎡である。主屋のほか表門、長屋門、長屋、米倉、衣装倉、中倉も指定されている。 | | |